

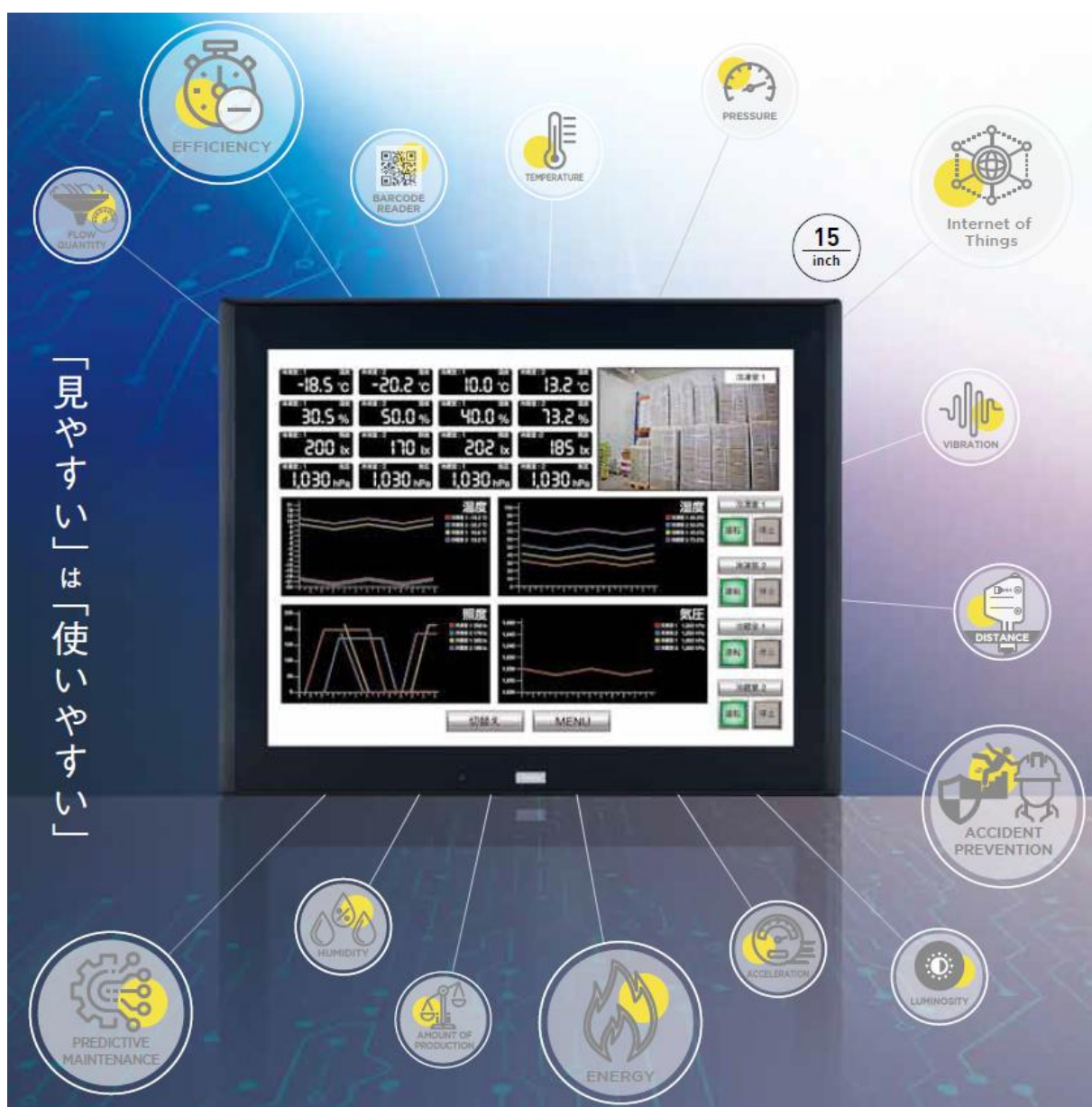
Think Automation and beyond...



HG4G/3G 形から HG4G/3G-V 形へ

HG2G-5F 形から HG2G-V 形への

置換手引書



目次

はじめに	3
■本資料について.....	3
■本書で使う略語、総称、用語.....	3
■HG4G/3G/2G-V 形への置換.....	3
新旧互換性 概要.....	5
■ハード互換.....	5
■機能互換.....	6
置換手順.....	7
■プロジェクト ファイルの変換方法.....	7
■プロジェクト ファイル変換後の調整について.....	8
① 画面の解像度	8
② パフォーマンス.....	10
③ 増設モジュール.....	12
④ マルチメディア機能.....	13
⑤ デバイス アドレス	16
⑥ シリアル インターフェイス RS422/485 (2 線式)	18
MICRO/I 仕様比較.....	20

はじめに

■本資料について

本資料は、プログラマブル表示器 HG4G/3G 形、HG2G-5F 形から、HG4G/3G/2G-V 形へ置換いただくための手引書です。WindO/I-NV4 ユーザーズマニュアル(HG9Y-B1700)と共にご参照下さい。

■本書で使う略語、総称、用語

項目	内容
MICRO/I	HG5G/4G/3G/2G-V 形、HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5T 形、HG1G/1P 形プログラマブル表示器の総称です。
WindO/I-NV4	MICRO/I の画面を作成する作画ソフトウェアです。
接続機器	MICRO/I と常時接続、通信する PLC やマイコンの総称です。
デバイス アドレス	MICRO/I および接続機器が搭載しているビット単位もしくはワード単位の値を格納することができるメモリのことです。

■HG4G/3G/2G-V 形への置換

- HG4G/3G/2G-V 形をご利用の場合は、WindO/I-NV4 Ver.1.11.1 以降をご使用ください。
- WindO/I-NV4 の[表示器機種の変更]ボタンをクリックし、[機種の変更]ダイアログで置換先の機種を選択することでプロジェクト ファイルの変換を行うことができます。詳細は本ドキュメントの「■プロジェクト ファイルの変換方法」をご参照ください。
- 画面の解像度が異なります。プログラム変換時、部品サイズが拡大されますが、その際、部品の見え方が異なる場合があります。詳細は本ドキュメントの「画面の解像度」をご参照ください。
- パフォーマンスが向上したことにより、スキャン速度が高速になっています。スキャンに連動した動作について、動作が異なる場合があります。詳細は本ドキュメントの「パフォーマンス」をご参照ください。
- 増設モジュールの種類と設定方法が異なります。詳細は本ドキュメントの「増設モジュール」をご参照ください。
- ビデオ入力の制限、動画ファイルのフォーマットおよび音声出力のボリュームが異なります。詳細は本ドキュメントの「マルチメディア機能」をご参照ください。
- 使用できるデバイス アドレスの種類に差異があります。必要に応じてデバイス アドレスの置

換が必要になります。詳細は本ドキュメントの「デバイス アドレス」をご参照ください。

- シリアル インターフェイスを RS422/485 (2 線式) で接続する場合の配線が異なります。詳細は本ドキュメントの「シリアル インターフェイス RS422/485 (2 線式)」をご参照ください。
- 置換後に不具合が発生した場合は、弊社までお問い合わせください。

新旧互換性 概要

下記に記載の無い機能については、HG4G/3G/2G-V は HG4G/3G 形、HG2G-5F 形に対して上位互換になります。

■ハード互換

<HG4G 形と HG4G-V 形の互換性>

機能	HG4G 形	HG4G-V 形
外形寸法	314.0(W)x240.0(H)x54.1(D) mm	変更無し
パネルカット	301.5(W)x227.5(H) mm	変更無し
表示分解能 (*1)	800 × 600 ドット	1024 × 768
インターフェイス	AUDIO IN 1ch VIDEO IN 1ch	AUDIO IN 無し VIDEO IN 2ch
ベゼル色	ダークグレイ	ブラック

<HG3G-A 形と HG3G-VA 形の互換性>

機能	HG3G-A 形	HG3G-VA 形
外形寸法	270.0(W)x212.0(H)x52.7(D) mm	変更無し
パネルカット	258.0(W)x200.0(H) mm	変更無し
表示分解能 (*1)	800 × 600 ドット	1024 × 768
インターフェイス	AUDIO IN 1ch VIDEO IN 1ch	AUDIO IN 無し VIDEO IN 2ch
ベゼル色	ライトグレー、ダークグレイ	ライトグレー、ブラック

<HG3G-8 形と HG3G-V8 形の互換性>

機能	HG3G-8 形	HG3G-V8 形
外形寸法	231.0(W)x176.0(H)x54.4(D) mm	変更無し
パネルカット	219.0(W)x164.0(H) mm	変更無し
表示分解能 (*1)	800 × 600 ドット	1024 × 768
インターフェイス	AUDIO IN 1ch VIDEO IN 1ch	AUDIO IN 無し VIDEO IN 2ch
ベゼル色	ライトグレー、ダークグレイ	ライトグレー、ブラック

(*1) 表示分解能変更によるプロジェクトファイルの変換方法については、「2. 置換手順」をご覧ください。

<HG2G-5F 形と HG2G-V 形の互換性>

機能	HG2G-5F 形	HG2G-V 形
外形寸法	167.2(W)x134.7(H)x54.4(D) mm	変更無し
パネルカット	153.0(W)x121.0(H) mm	変更無し
表示分解能 (*1)	640 × 480	変更無し
インターフェイス	「3. MICRO/I 仕様比較」参照	変更無し
ベゼル色	ライトグレー、ダークグレー、 シルバー	ライトグレー、ブラック

■ 機能互換

<HG4G/3G 形と HG4G/3G-V 形の互換性>

機能	HG4G/3G 形	HG4G/3G-V 形
BACnet 通信	非対応	対応
サウンド	サウンド入力、出力に対応	サウンド出力のみに対応
ビデオ表示	MP4 のみに対応(*1)	AVI のみに対応
増設モジュール	増設モジュール対応表参照。	

(*1) ビデオ表示機能は HG4G/3G 形のビデオインターフェイス搭載機種でのみ使用可能です。

<HG2G-5F 形と HG2G-V 形の互換性>

機能	HG2G-5F 形	HG2G-V 形
BACnet 通信	非対応	対応
増設モジュール	増設モジュール対応表参照。	

• 増設モジュール対応表

増設モジュール	HG4G/3G 形、 HG2G-5F 形	HG4G/3G/2G-V 形
FC4A 形デジタル I/O モジュール	対応	非対応
FC6A 形デジタル I/O モジュール	対応 (*2)	対応
FC6A 形アナログ I/O モジュール	非対応	対応

(*2) WIndO/I-NV4 Ver.1.4.0 以降

置換手順

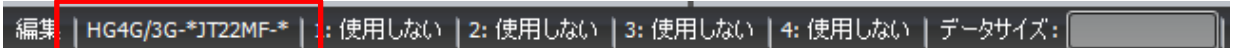
■プロジェクト ファイルの変換方法

【注意点】

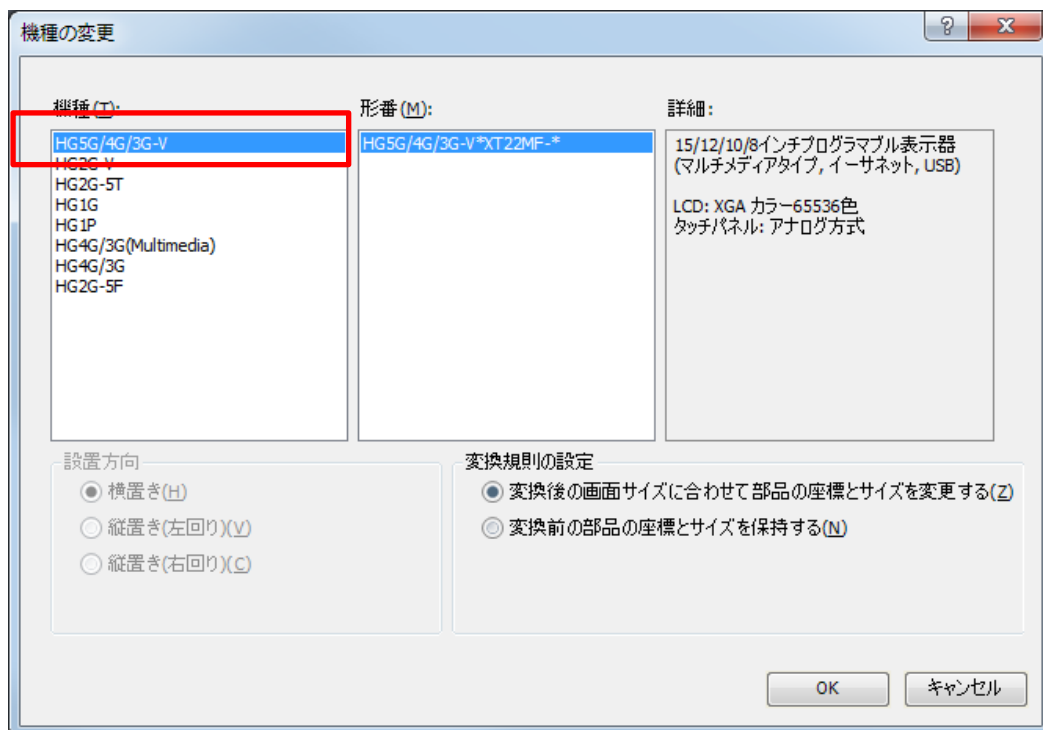
プロジェクト ファイルを変換する前に必ず PN4 ファイルのバックアップを保存してください。
HG4G/3G 形、HG2G-5F 形から HG4G/3G/2G-V 形への変換は出来ませんが、
HG4G/3G/2G-V 形から HG4G/3G 形、HG2G-5F 形への変換は出来ません。

【手順】

1. Ver1.11.1 以降の WindO/I-NV4 を起動します。
2. 作成済みの PN4 ファイルを開きます。(PN4 ファイルがお手元に無い場合は、MICRO/I 本体からアップロードを行ってください。)
3. WindO/I-NV4 ウィンドウ下部のステータスバーにある、「表示器機種の変更」ボタンをクリックします。



4. [機種]リストから置換先の機種を選択します。



5. [OK]ボタンをクリックします。

■プロジェクト ファイル変換後の調整について

① 画面の解像度

【手動での変更】

置換	変更の必要性
HG4G/3G 形 ⇒ HG4G/3G-V 形	必要
HG2G-5F 形 ⇒ HG2G-V 形	不要

【概要】

HG4G/3G-V 形は、HG4G/3G 形に比べ解像度が 1.28 倍になりました。

製品シリーズ	解像度
HG4G/3G 形	800 × 600 ドット
HG4G/3G-V 形	1024 × 768 ドット

「■プロジェクト ファイルの変換方法」の手順 2 で[変換規則の設定]が” 変換後の画面サイズに合わせて部品の座標とサイズを変更する” の場合、変換後のプロジェクトデータの部品は解像度に合わせて伸張して変換されます。

(例) 文字部品に以下の設定を行って、変換を実施します。

文字部品 1 : フォント : 日本語、拡大率 : 2×2

文字部品 2 : フォント : Windows(MS UI Gothic)、サイズ : 28

文字部品 3 : フォント : 欧文ストローク、サイズ 20

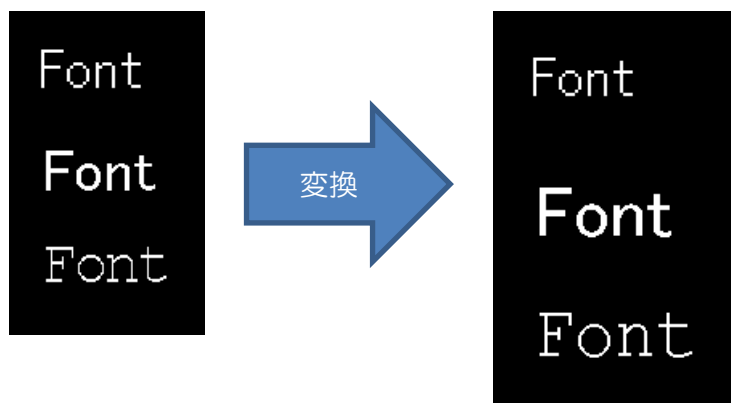
↓変換

文字部品 1 : フォント : 日本語、拡大率 : 2×2

文字部品 2 : フォント : Windows(MS UI Gothic)、サイズ : 34

文字部品 3 : フォント : 欧文ストローク、サイズ : 25

変換イメージは以下です。



・文字部品1について

サイズを表す各数値は画面の解像度に合わせて 1.28 倍されます。

$$2 \times 1.28 = 2.56$$

このとき、小数点以下はは切り捨てられるため、変換後も「2」となり、変化はありません。

・文字部品2について

サイズを表す各数値は画面の解像度に合わせて 1.28 倍されます。ただし、Windows フォントの場合、単純にサイズの値を 1.28 倍するのではなく、文字列全体の幅、高さを 1.28 倍し、一番近いサイズが選択されます。その結果、「34」となります。

・文字部品3について

サイズを表す各数値は画面の解像度に合わせて 1.28 倍されます。

$$20 \times 1.28 = 25.6$$

このとき、小数点以下はは切り捨てられるため、その結果、「25」となります。

【注意点1】

<内容>

画面に配置した文字の位置や大きさについて、上記のように解像度の変換倍率に対して適切な値に変換されない場合があります。このため、HG4G/3G-V 形では文字の見え方が HG4G/3G 形と異なる場合があります。

<対応方法>

HG4G/3G-V 形の画面サイズに合わせて、位置や大きさを変更してください。

【注意点2】

<内容>

登録図形は解像度に合わせて伸張されますが、元データの内容によっては見え方が粗くなる場合があります。

<対応方法>

HG4G/3G-V 形の画面サイズに合わせて画像を作成し、再登録してください。

② パフォーマンス

【手動での変更】

置換	変更の必要性
HG4G/3G 形 ⇒ HG4G/3G-V 形	必要
HG2G-5F 形 ⇒ HG2G-V 形	必要

【概要】

HG4G/3G/2G-V 形では、HG4G/3G 形、HG2G-5F 形に比べ動作パフォーマンスが向上しており、スキャン速度が高速になっています。

【注意点 1】

<内容>

スキャンに連動するデバイスアドレスを用いた作画処理を行っている場合、部品が動作するまでの時間や、部品の動作周期が変化します。代表的なデバイスアドレスは以下のものです。

デバイスアドレス	機能
LSM4	スキャンごとに 0 と 1 を繰り返す
LSD7	1 スキャンごとにインクリメント

例：LSD7 が 10000 以上のときに動作する部品を配置している場合。

HG4G/3G/2G-V 形は HG4G/3G/2G-5F 形に比べスキャンが高速になっているため、LSD7 が 10000 になるまでの時間が短くなります。このため、HG4G/3G/2G-V 形の部品は、HG4G/3G/2G-5F 形での部品よりも早いタイミングで動作することになります。

<対応方法>

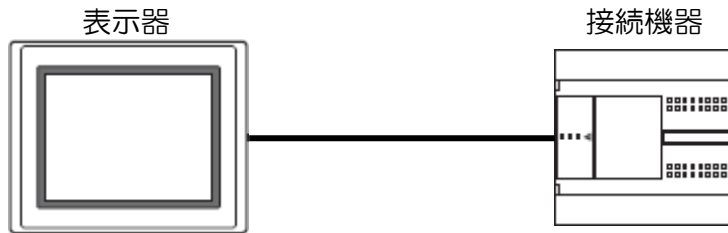
スキャン速度は画面に配置する部品の数や使用するデバイスアドレスの数などによって異なりますので、画面ごとのスキャン速度に応じた動作条件に変更してください。

【注意点 2】

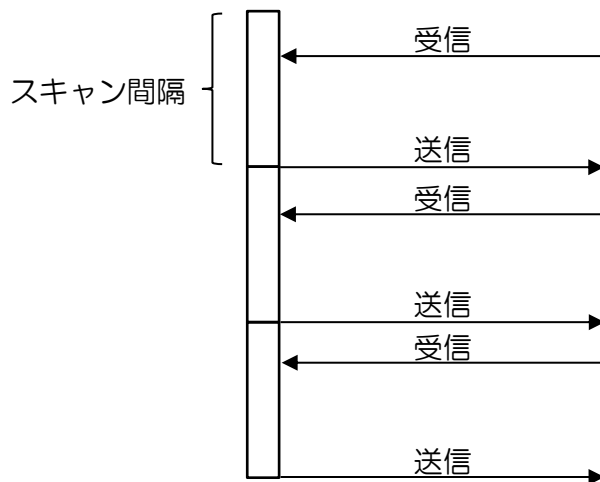
＜内容＞

ユーザー通信はスキャンごとにコマンドの動作条件の判定をしていますので、スキャン速度が速くなることにより接続機器への応答が速くなる場合があります。

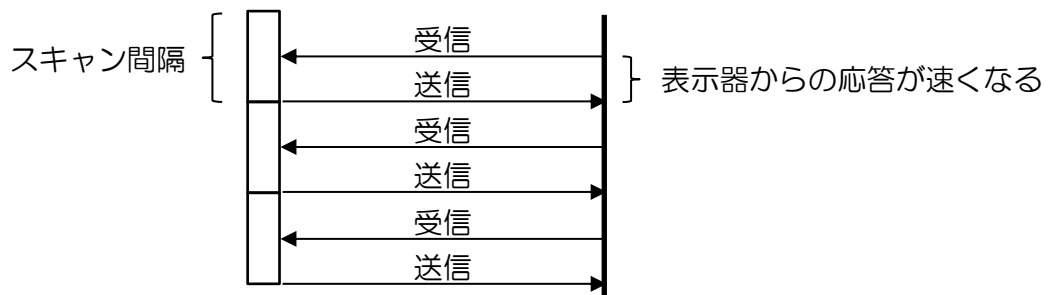
例：ユーザー通信で、接続機器からコマンドを受け取ると応答を返すように設定している場合。



スキャン時間が長い場合



スキャン時間が短い場合



＜対応方法＞

送信コマンドに[送信ウェイト]を設定して、動作条件が成立してからデータを送信するまでの待ち時間を調整してください。

③ 増設モジュール

【手動での変更】

置換	変更の必要性
HG4G/3G 形 ⇒ HG4G/3G-V 形	必要
HG2G-5F 形 ⇒ HG2G-V 形	必要

【概要】

HG4G/3G/2G-V 形では対応する増設モジュールの種類と設定方法が変更になりました。

【制限事項】

HG4G/3G/2G-V 形においては、FC4A 形デジタル IO モジュールを使用できません。FC6A 形デジタル IO モジュールをお使いください。

【注意点 1】

<内容>

プロジェクト内の LEX、LEY デバイス アドレスは、それぞれ #I、#Q デバイス アドレスに置き換わります。ただし、プロジェクト内の LEX、LEY デバイスアドレスは、変換時に #I、#Q に自動的に置換されますが、部品のコメントやスクリプト内のコメントのように文字列として記載しているデバイスアドレスについては自動的に置換されません。

<対応方法>

部品のコメントやスクリプト内のコメントについては、文字列の変更を行ってください。WLEX、WLEY デバイス アドレスは置換されないため、手動で #WI、#WQ に置換してください。

【注意点 2】

<内容>

WindO/I-NV4 にモジュール構成ダイアログボックスが追加されました。

<対応方法>

FC6A 形デジタル IO モジュールのみを使用する場合、モジュール構成ダイアログボックスで該当モジュールが設定されていなくても動作しますので、モジュール構成ダイアログボックスの設定を変更する作業は不要です。FC6A 形アナログ IO モジュールを使用する場合は、[プロジェクト設定]-[増設モジュール]からモジュール構成ダイアログボックスを開き、モジュール構成ダイアログボックスで接続する FC6A 形アナログ IO モジュールを選択し、プロジェクトを HG4G/3G/2G-V 形にダウンロードしてください。

④ マルチメディア機能

【手動での変更】

置換	変更の必要性
HG4G/3G 形 ⇒ HG4G/3G-V 形	必要
HG2G-5F 形 ⇒ HG2G-V 形	不要

【概要】

音声入力が無くなり、再生できる動画フォーマットが変更されました。

【制限事項】

録画の際、音声を録音することはできません。

【注意点 1】

HG4G/3G 形のビデオインターフェイス搭載機種 of ファイルフォーマットは、MP4 ファイルですが、HG4G/3G-V 形のファイルフォーマットは AVI ファイルに変更になります。

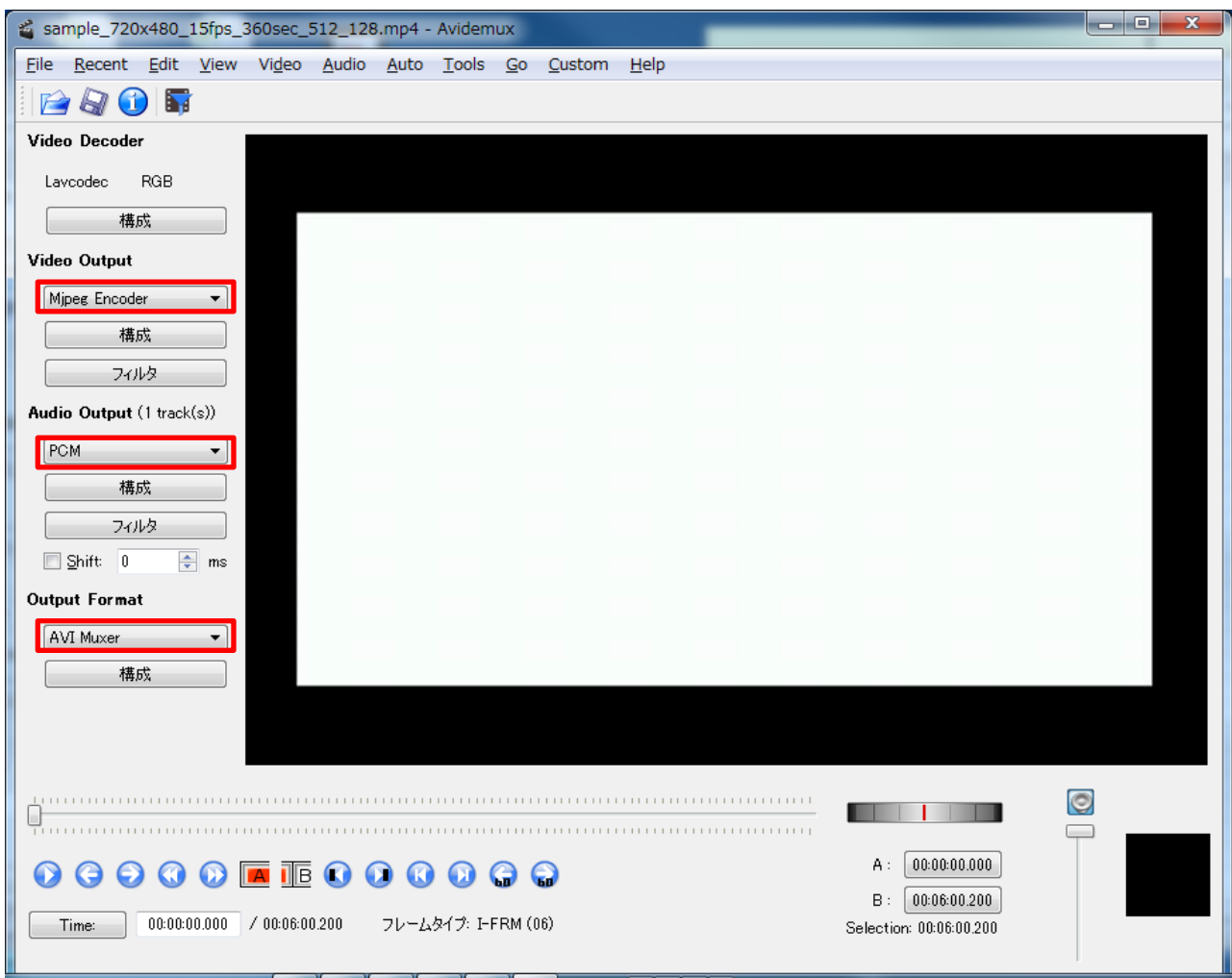
<対応方法>

HG4G/3G 形のビデオインターフェイス搭載機種で使用していた MP4 ファイルを HG4G/3G-V 形で使用する場合は、ファイル変換ソフトを用いて AVI ファイルに変換してください。

以下に Avidemux を使用した手順を記載します。Avidemux はフリーソフトです。次の URL からダウンロード可能です。<http://avidemux.sourceforge.net/download.html>

■MP4 ファイルを AVI ファイルに変更する手順

1. Avidemux を起動し、[File]-[Open]から MP4 ファイルを選択します。



2. 画面左側の設定項目を以下のように変更します。(上記図赤枠部)

Video Output : Mjpeg Encoder

Audio Output : PCM

Output Format : AVI Muxer

3. [File]-[Save]を選択し、AVI ファイルとして保存します。

【注意点 2】

<内容>

ビデオ表示器を”ビデオ入力からの映像を表示する”として使用する場合、ビデオ表示器の大きさと入力信号の組み合わせにより、以下の制限があります。

HG4G/3G 形

入力信号	制限事項
NTSC	ビデオ表示器のプレートのサイズが 90 × 60 ドットより小さい場合、ビデオ入力からの映像が表示されません。
PAL	ビデオ表示器のプレートのサイズが 90 × 72 ドットより小さい場合、ビデオ入力からの映像が表示されません。

HG4G/3G-V 形

入力信号	制限事項
NTSC	ビデオ表示器のプレートのサイズが 368 × 240 ドットより小さい場合、ビデオ入力からの映像が表示されません。
PAL	ビデオ表示器のプレートのサイズが 368 × 288 ドットより小さい場合、ビデオ入力からの映像が表示されません。

<対応方法>

ビデオ表示器のプレートのサイズを大きくして、画面に配置してください。

【注意点 3】

HG4G/3G-V 形のサウンド機能や動画再生時の音量は、HG4G/3G 形のものより大きくなっています。そのため、デバイスアドレスで指定するボリュームの値（最小 0～最大 31）が同一であっても、HG4G/3G-V 形の音が大きく聞こえます。両シリーズの音量について、おおよそ同じ音の大きさとなるのは以下の設定値の場合です。（聞こえ方には個人差があります）

HG4G/3G 形の音量	HG4G/3G-V 形の音量
音量 31	音量 7～8
音量 15	音量 2～3

<対応方法>

デバイスアドレスの値を調整してください。また、音声出力端子の出力先に接続されているスピーカーやアンプの音量を調整してください。

⑤ デバイス アドレス

【手動での変更】

置換	変更の必要性
HG4G/3G 形 ⇒ HG4G/3G-V 形	必要
HG2G-5F 形 ⇒ HG2G-V 形	必要

【概要】

ビット デバイスについては手動での変更不要です。ワード デバイスについては WLEX を #WI に、WLEY を #WQ に置換してください。

差異の詳細について以下の表を参照してください。

【内部デバイス アドレス】

<ビット デバイス>

デバイス名	記号	HG4G/3G 形、 HG2G-5F 形	HG4G/3G/2G-V 形	置換の必要性
		対応状況		
HMI 内部リレー	LM	対応	対応	無し
HMI キープリレー	LK	対応	対応	無し
HMI タイマ	LTC	対応	対応	無し
デジタル入力(ビット)	LEX	対応	非対応	無し(*1)
デジタル出力(ビット)	LEY	対応	非対応	無し(*1)
HMI テンポラリリレー	LBM	対応	対応	無し
HMI 特殊内部リレー	LSM	対応	対応	無し
増設入力	#I	非対応	対応	無し
増設出力	#Q	非対応	対応	無し
内部リレー	#M	非対応	対応	無し

(*1) 機種変更時、LEX が #I、LEY が #Q に自動で置換されます。

<ワード デバイス>

デバイス名	記号	HG4G/3G 形、 HG2G-5F 形	HG4G/3G/2G-V 形	置換の必要性
		対応状況		
HMI データレジスタ	LDR	対応	対応	無し
HMI キープレジスタ	LKR	対応	対応	無し
HMI タイマ（現在値）	LTD	対応	対応	無し
デジタル入力（ワード）	WLEX	対応	非対応	#WI に置換してください。
デジタル出力（ワード）	WLEY	対応	非対応	#WQ に置換してください。
HMI テンポラリレジスタ	LBR	対応	対応	無し
HMI リンクレジスタ	LLR	対応	対応	無し
HMI 特殊データレジスタ	LSD	対応	対応	無し
増設入力	#WI	非対応	対応	無し
増設出力	#WQ	非対応	対応	無し
内部リレー	#WM	非対応	対応	無し
データレジスタ	#D	非対応	対応	無し

【接続機器デバイス アドレス】

<DM リンク>

デバイス アドレスの範囲が DM 0~DM8191 から DM0~DM16383 に拡張されています。置換は不要です。

⑥ シリアル インターフェイス RS422/485 (2線式)

【手動での変更】

置換	変更の必要性
HG4G/3G形 ⇒ HG4G/3G-V形	必要
HG2G-5F形 ⇒ HG2G-V形	必要

【概要】

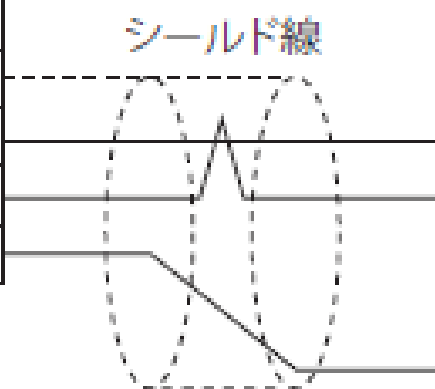
RS422/485 (2線式) で接続する場合の配線に違いがあります。次の通りに配線してください。

<HG4G/3G形、HG2G-5F形の配線>

HG4G/3G形、HG2G-5F形は、RDAとRDBのみでRS422/485(2線式)通信を行いますのでSDAとSDBを接続する必要はありません。

接続機器

名称
FG
A
B
SG

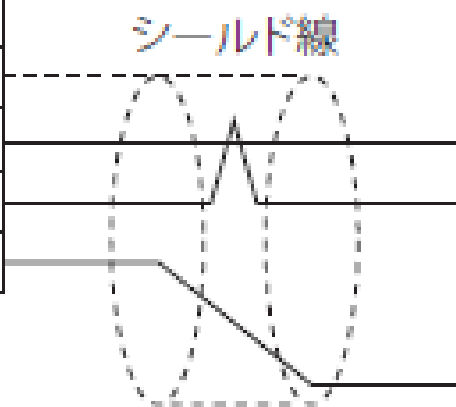


HG4G/3G形、HG2G-5F形
D-sub 9ピン コネクタ (プラグ)

ピン番号	名称
カバー	FG
1	RDA(RD+)
6	RDB(RD-)
4	SDA(SD+)
9	SDB(SD-)
5	SG

接続機器

名称
FG
A
B
SG



HG4G/3G形、HG2G-5F形
端子台

ピン番号	名称
8	RDA(RD+)
9	RDB(RD-)
6	SDA(SD+)
7	SDB(SD-)
5	SG

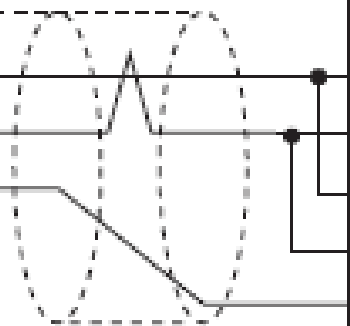
<HG4G/3G/2G-V形の配線>

HG4G/3G/2G-V形では、RDAとSDA、RDBとSDBをそれぞれ短絡するように配線してください。

接続機器

名称
FG
A
B
SG

シールド線



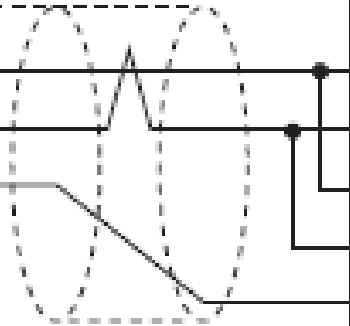
HG5G/4G/3G/2G-V形
D-sub 9ピンコネクタ (プラグ)

ピン番号	名称
カバー	FG
1	RDA(RD+)
6	RDB(RD-)
4	SDA(SD+)
9	SDB(SD-)
5	SG

接続機器

名称
FG
A
B
SG

シールド線



HG5G/4G/3G/2G-V形
端子台

ピン番号	名称
8	RDA(RD+)
9	RDB(RD-)
6	SDA(SD+)
7	SDB(SD-)
5	SG

MICRO/I 仕様比較

【概要】

ハードウェアについては、以下の違いがあります。内容をご確認の上、置換先の機種をご選択ください。

<HG4G/3G 形と HG4G/3G-V 形の比較表>

分類	項目	HG4G/3G 形	HG4G/3G-V 形
表示仕様	表示素子	TFT カラーLCD (TN タイプ)	TFT カラーLCD (IPS タイプ)
	有効表示寸法	HG4G: 246.000 × 184.500 mm HG3G-A: 211.200 × 158.400 mm HG3G-8: 170.400 × 127.800 mm	HG4G-V: 245.760 × 184.320 mm HG3G-VA: 210.400 × 157.800 mm HG3G-V8: 170.496 × 127.872 mm
	表示分解能	800 × 600 ドット	1024 × 768 ドット
	輝度	HG4G: 550 cd/m2 HG3G-A: 700 cd/m2 HG3G-8: 600 cd/m2	HG4G-V: 600 cd/m2 HG3G-VA: 700 cd/m2 HG3G-V8: 800 cd/m2
	バックライト寿命	100,000 時間	
インターフェイス仕様	シリアル ポート数	2 ポート	3 ポート
	シリアル インターフェイス(*1)	D-sub 9 ピン (COM1) (RS232C、RS422/485 選択式)	D-sub 9 ピン (COM1) (RS232C、RS422/485 選択式)
		着脱式端子台 9 ピン (COM2) (RS232C、RS422/485 選択式)	着脱式端子台 9 ピン (COM2) (RS232C が 1ch、RS422/485 が 1ch)
	O/I リンク通信	本体シリアルインターフェイスの RS422/485 で通信	
	Ethernet (LAN)	有り	
	USB Mini-B (USB1)	有り	
	USB Type A (USB2)	有り	
	メモ리카ードインターフェイス (SD)	有り	
	増設モジュール用インターフェイス (EXT)	有り	
	オーディオ インターフェイス	AUDIO IN 1ch AUDIO OUT 1ch	AUDIO OUT 1ch
ビデオ インターフェイス	VIDEO IN 1ch	VIDEO IN 2ch	

分類	項目	HG4G/3G 形	HG4G/3G-V 形
一般仕様	定格電圧	DC24V	
	動作周囲温度	0 ~ 50 ℃	-20 ~ 60 ℃
	外形寸法	HG4G, HG4G-V: 314.0(W)x240.0(H)x54.1(D) mm HG3G-A, HG3G-VA: 270.0(W)x212.0(H)x52.7(D) mm HG3G-8, HG3G-V8: 231.0(W)x176.0(H)x54.4(D) mm	
	パネルカット	HG4G, HG4G-V: 301.5(W)x227.5(H) mm HG3G-A, HG3G-VA: 258.0(W)x200.0(H) mm HG3G-8, HG3G-V8: 219.0(W)x164.0(H) mm	

(*1) HG4G/3G 形、HG2G-5F 形でご使用のオプションケーブルは HG4G/3G/2G-V 形でも使用できます。

<HG2G-5F 形と HG2G-V 形の比較表>

分類	項目	HG2G-5F 形	HG2G-V 形
表示仕様	表示素子	TFT カラーLCD (TN タイプ)	
	有効表示寸法	115.2 × 86.4 mm	
	表示分解能	640 × 480 ドット	
	輝度	800 cd/m2	
	バックライト寿命	50,000 時間	100,000 時間
インターフェイス仕様	シリアル ポート数	2 ポート	3 ポート
	シリアル インターフェイス(*1)	D-sub 9 ピン (COM1) (RS232C、RS422/485 選択式)	D-sub 9 ピン (COM1) (RS232C、RS422/485 選択式)
		着脱式端子台 9 ピン (COM2) (RS232C、RS422/485 選択式)	着脱式端子台 9 ピン (COM2) (RS232C が 1ch、RS422/485 が 1ch)
	O/I リンク通信	本体シリアルインターフェイスの RS422/485 で通信	
	Ethernet (LAN)	有り	
	USB Mini-B (USB1)	有り	
	USB Type A (USB2)	有り	
	メモ리카ードインターフェイス (SD)	有り	
	増設モジュール用インターフェイス (EXT)	有り	
一般仕様	定格電圧	DC24V	
	動作周囲温度	0 ~ 50 °C	-20 ~ 60 °C
	外形寸法	167.2(W)×134.7(H)×54.4(D) mm	
	パネルカット	153.0(W)×121.0(H) mm	

(*1) HG4G/3G 形、HG2G-5F 形でご使用のオプションケーブルは HG4G/3G/2G-V 形でも使用できます。

<MEMO>



東京 (03)5782-7680 名古屋 (052)732-2712 大阪 (06)6398-3070
広島 (082)242-7110 福岡 (092)474-6331

上記営業所には、各種専門的な技術相談に対応できるテクニカルサポートセンターを設置しています。
IDECの情報はインターネットでアクセスできます。 <http://www.idec.com/japan/>

※仕様、その他記載内容は予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。

B-2137(O) 2019 (平成 31) 年 4 月現在